

令和 8 年 8 月 7 日

総合政策局技術政策課

交通運輸技術開発推進制度の令和 8 年度新規研究課題を決定 ～交通運輸分野におけるイノベーションを推進～

国土交通省では、交通分野におけるイノベーションを促進するため、「交通運輸技術開発推進制度」により、革新的な技術の開発を推進しています。
この度、船舶の自動運航に資する技術の研究など、新規研究課題 6 件を採択しました。

交通運輸技術開発推進制度は、安全安心で快適な交通社会の実現や環境負荷軽減等に資するイノベティブな技術を発掘から社会実装まで支援する競争的資金制度です。毎年度、交通運輸分野の政策課題の解決に資する研究開発テーマについて研究課題の公募を行い、提案された研究課題の中から優れたものを研究開発業務として委託しています。

今般、外部有識者委員会における評価や行政ニーズを踏まえ、一般型^(※1)、マッチング推進型^(※2)及び SBIR 省庁連携型^(※3)として以下のとおり本年度の新規研究課題を採択しましたのでお知らせします。

本研究課題の概要につきましては、別紙をご覧ください。

採択課題名	
一般型	船舶における周辺認知機能の評価体系の構築に関する研究
	有線給電型大型 UAV と自動測量システムによる法面の吹付の自動化
マッチング 推進型	航空機へのリブレット適用にむけた飛行安全性・効果検証並びに整備性の検討
	航空機用バリアフリーラバトリーの研究開発
	港湾工事における潜水作業の生産性・安全性向上に向けた水中部の簡易な状況把握に係る技術開発
SBIR 省庁連携型	港湾の処理能力を考慮した混雑予測に基づく海運事業者の意思決定支援システムの開発

(※1) 一般型：概念実証や実現可能性調査で得られた成果等を前提として取り組む研究開発のうち、最長 3 年程度で成果が見込まれるものを対象とする公募枠

(※2) マッチング推進型：行政機関等から具体的な技術開発ニーズを募集し、ニーズに沿ったテーマを設けることで、ニーズとシーズのマッチングを図り、早期の社会実装実現を目指す公募枠

(※3) SBIR 省庁連携型：他省庁・他機関における研究開発支援による概念実証や実現可能性調査の成果等を前提として取り組む研究開発のうち、2 年程度で成果が見込まれるものを対象とする公募枠

【問合せ先】

総合政策局 技術政策課 川津、加納

代表:03-5253-8111 (内線: 25615、25626)、直通:03-5253-8950